

## (2) 今期の景況と来期の見通し

### 製 造 業

#### 業況・売上額・受注残・収益

製造業の主要指標をみると、業況は $\Delta 21.6$ で前期比6.9ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 12.6$ で7.1ポイント増、収益は $\Delta 13.1$ で10.3ポイント増、受注残は $\Delta 11.3$ で6.2ポイント増といずれも大幅に減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は低調感がわずかに強まり、売上額は減少幅がやや縮小し、受注残は今期同様の減少が続き、収益は減益幅がやや拡大する見込み。

業種別でみると、業況は「一般機械器具・金型」は極端に厳しさが和らぎ、「電気機械器具」はわずかに厳しさを増し、「金属製品・建設用金属製品」は非常に低調感が強まった。売上額は、「一般機械器具・金型」は大きく改善し、「電気機械器具」はやや減少を強め、「金属製品・建設用金属製品」はかなり減少幅が拡大した。受注残は、「一般機械器具・金型」は大幅に減少幅が縮小し、「金属製品・建設用金属製品」は増加から減少に転じ、「電気機械器具」はかなり低迷した。収益は、「一般機械器具・金型」は大きく改善し、「金属製品・建設用金属製品」は多少持ち直し、「電気機械器具」はかなり低迷した。

#### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は1.0で8.5ポイント増と上昇に転じ、原材料価格は41.0で20.9ポイント増と極端に上昇傾向が強まり、在庫は1.8で4.3ポイント増と適正水準となった。来期の見通しについては、販売価格は上昇傾向がやや強まり、原材料価格は上昇傾向が大きく弱まり、在庫は適正水準が続く見通し。

業種別でみると、販売価格は、「金属製品・建設用金属製品」は上昇に転じ、「電気機械器具」はほぼ横這いで推移し、「一般機械器具・金型」は幾分下降傾向が弱まった。原材料価格は、「一般機械器具・金型」はかなり上昇幅が拡大し、「金属製品・建設用金属製品」「電気機械器具」はともに極端に上昇傾向が強まった。在庫は、「電気機械器具」は大きく過剰感が強まり、「一般機械器具・金型」は過剰に転じ、「金属製品・建設用金属製品」は過剰から品薄に転じた。

#### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 17.5$ で7.0ポイント増とかなり窮屈感が緩和した。借入難易度は $\Delta 1.6$ で8.5ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。借入をした企業は12.7%で1.2ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は7.1%で5.4ポイント減少した。来期の見通しについて、資金繰りは今期同様の苦しさで推移し、借入をする企業は大きく減少し、設備投資を実施する企業は若干増加する見込み。

業種別でみると、資金繰りは、「一般機械器具・金型」は大きく厳しさが和らぎ、「電気機械器具」はやや窮屈感が緩和し、「金属製品・建設用金属製品」は若干苦しさが強まった。借入難易度は、「電気機械器具」は好転し、「金属製品・建設用金属製品」「一般機械器具・金型」はともに増減なく推移した。今期借入をした企業は、「金属製品・建設用金属製品」は前期並で推移し、「一般機械器具・金型」「電気機械器具」はともにわずかに減少した。設備投資を実施した企業は、「一般機械器具・金型」は幾分増加し、「金属製品・建設用金属製品」は前期同様変わらず推移し、「電気機械器具」は多少減少した。

## 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で40.8%となった。次いで2位は「原材料高」で36.6%、3位は「同業者間の競争の激化」で15.5%となった。以下、4位は「利幅の縮小」「人手不足」がともに11.3%、5位は「大手企業との競争の激化」「販売納入先からの値下げ要請」がともに8.5%となった。

重点経営施策では、1位は「販路を広げる」で43.7%となった。次いで2位は「経費を節減する」で42.3%、3位は「情報力を強化する」で11.3%となった。以下、4位は「人材を確保する」「新製品・技術を開発する」がともに8.5%、5位は「提携先を見つける」「機械化を推進する」「教育訓練を強化する」「工場・機械を増設・移転する」がいずれも5.6%となった。

## 業種別動向

### (1) 金属製品、建設用金属製品

業況は $\Delta 24.2$ で前期比21.8ポイント減と非常に低調感が強まった。収益は $\Delta 6.3$ で1.6ポイント増と多少持ち直し、受注残は $\Delta 7.5$ で10.3ポイント減と増加から減少に転じ、売上額は $\Delta 17.3$ で10.9ポイント減とかなり減少幅が拡大した。今期の「金属製品、建設用金属製品」は、収益は改善し、業況、受注残、売上額はいずれも悪化した。価格動向については、販売価格は10.8で12.9ポイント増と上昇に転じ、原材料価格は39.0で20.6ポイント増と極端に上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 18.2$ で21.2ポイント減と過剰から品薄に転じた。資金繰りは $\Delta 6.5$ で2.2ポイント減と若干苦しさが強まり、借入難易度は0.0で増減なく推移した。借入をした企業は11.1%、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%とともに前期同様変わらず推移した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。売上額、受注残はともに減少幅がかなり拡大し、収益は減益幅がわずかに縮小する見通し。販売価格は上昇から下降に転じ、原材料価格は上昇傾向がかなり弱まると見込まれる。在庫は今期同様の不足感が続き、資金繰りは窮屈感が大きく強まり、設備投資をする企業は大幅に増加する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で55.6%、2位は「原材料高」で33.3%、3位は「仕入先からの値上げ要請」「工場・機械の狭小・老朽化」「下請の確保難」がいずれも22.2%となった。重点経営施策については、1位は「販路を広げる」で55.6%、2位は「経費を節減する」で33.3%、3位は「情報力を強化する」「提携先を見つける」「人材を確保する」がいずれも22.2%となった。

### (2) 一般機械器具、金型

業況は $\Delta 5.7$ で前期比21.0ポイント増と極端に厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 3.7$ で13.6ポイント増、収益は $\Delta 0.1$ で17.7ポイント増、受注残は $\Delta 3.4$ で12.9ポイント増といずれも大きく改善した。今期の「一般機械器具、金型」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも改善した。価格動向については、販売価格は $\Delta 9.1$ で1.7ポイント増と幾分下降傾向が弱まり、原材料価格は23.9で8.1ポイント増とかなり上昇幅が拡大した。在庫は11.7で13.6ポイント増と過剰に転じた。資金繰りは $\Delta 12.0$ で7.4ポイント増と大きく厳しさが和らぎ、借入難易度は25.0で増減なく前期並となった。借入をした企業は22.2%で5.1ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は11.1%で2.0ポイント増加した。

来期の見通しについては、業況は低調感が大きく強まる見込み。売上額、受注残はともに減少幅がやや縮小し、収益は今期同様の水準で推移する見通し。販売価格は上昇に転じ、原材料価格は上昇傾向がわずかに弱まるとみられる。在庫は過剰感が続き、資金繰りは容易となり、設備投資をする企業は今期同様変わらない見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で33.3%、2位は「利幅の縮小」「原材料高」がともに22.2%、3位は「仕入先からの値上げ要請」「生産能力の不足」がともに11.1%となった。重点経営施策については、1位が「販路を広げる」で55.6%、2位は「経費を節減する」で33.3%、3位は「機械化を推進する」で11.1%となった。

### (3)電気機械器具

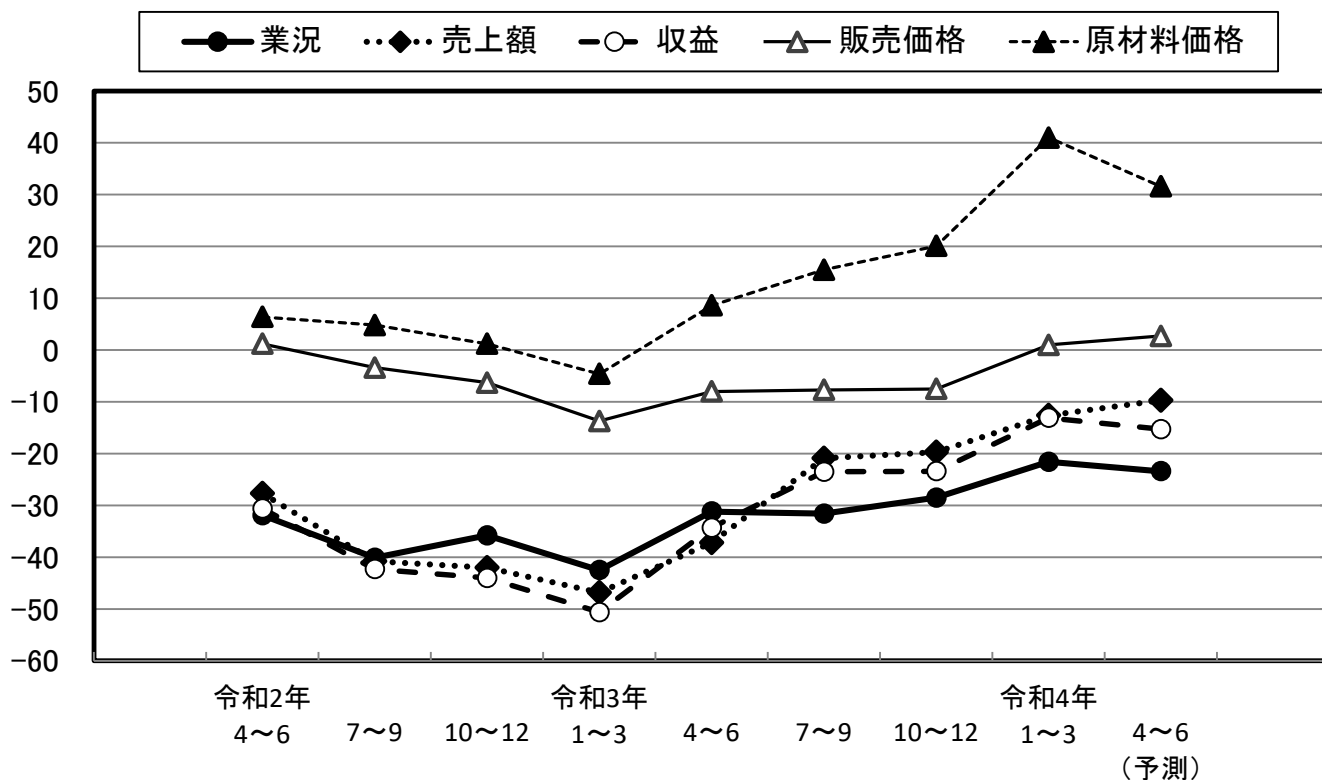
業況は△33.9で前期比2.3ポイント減とわずかに厳しさを増した。売上額は△13.0で2.0ポイント減とやや減少を強め、受注残は△22.6で13.2ポイント減、収益は△30.8で10.2ポイント減とともにかなり低迷した。今期の「電気機械器具」は、業況、売上額、受注残、収益いずれも悪化した。

価格動向については、販売価格は△1.7で0.8ポイント減とほぼ横這いで推移し、原材料価格は60.6で34.7ポイント増と極端に上昇傾向が強まった。在庫は11.8で11.1ポイント増と大きく過剰感が強まった。資金繰りは△29.2で5.4ポイント増とやや窮屈感が緩和し、借入難易度は13.3で30.0ポイント増と好転した。借入をした企業は13.3%で2.1ポイント減少し、設備投資動向については、設備投資を実施した企業は13.3%で2.1ポイント減少した。

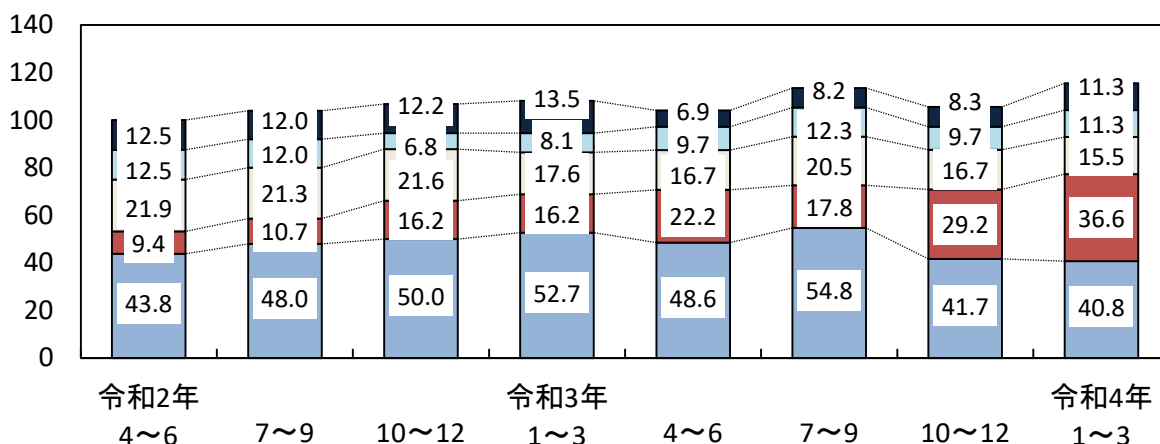
来期の見通しについては、業況は低調感がかなり強まる見込み。売上額、受注残、収益はいずれも大きく減少・減益幅が拡大する見通し。販売価格はほぼ横這いで推移し、原材料価格は上昇傾向が大幅に弱まるとみられる。在庫は今期同様の過剰感が続き、資金繰りは今期同様の苦しさが続き、設備投資を実施する企業はかなり減少する見込み。

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」「人手不足」がともに40.0%、2位は「原材料高」で26.7%、3位は「販売納入先からの値下げ要請」で20.0%となった。重点経営施策については、1位は「経費を節減する」で40.0%、2位は「販路を広げる」で26.7%、3位は「人材を確保する」で20.0%となった。

業況と売上額、収益、販売価格、原材料価格の動き（実績）と来期の予測



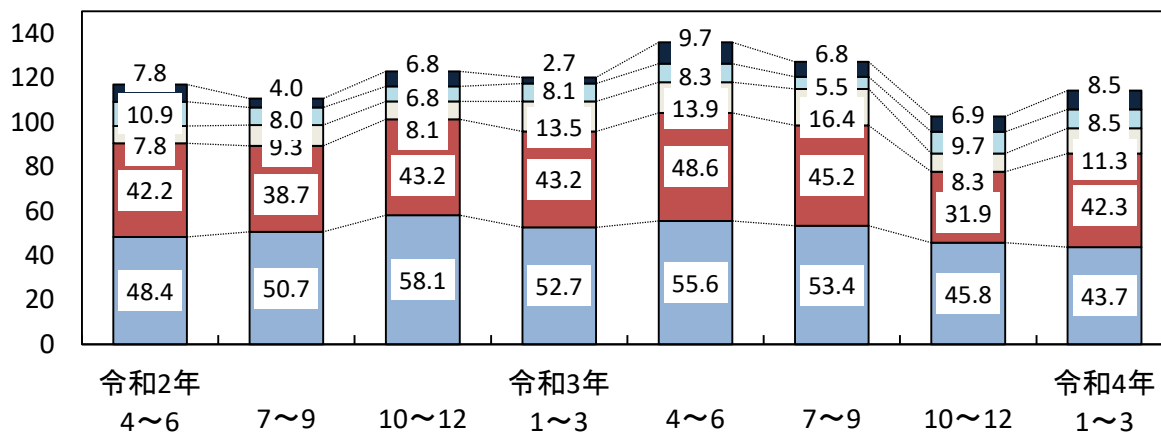
## 製造業 経営上の問題点（％）



■ 売上の停滞・減少 ■ 原材料高 □ 同業者間の競争の激化 □ 利幅の縮小 ■ 人手不足

	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 48.6 %	売上の停滞・減少 54.8 %	売上の停滞・減少 41.7 %	売上の停滞・減少 40.8 %
第2位	原材料高 22.2 %	同業者間の競争の激化 20.5 %	原材料高 29.2 %	原材料高 36.6 %
第3位	同業者間の競争の激化 16.7 %	原材料高 17.8 %	同業者間の競争の激化 16.7 %	同業者間の競争の激化 15.5 %
第4位	販売納入先からの値下げ要請 11.1 %	利幅の縮小 12.3 %	利幅の縮小 9.7 %	利幅の縮小 11.3 %
第5位	利幅の縮小 9.7 %	人手不足 8.2 %	仕入先からの値上げ要請 8.3 % 人手不足 8.3 %	大手企業との競争の激化 8.5 % 販売納入先からの値下げ要請 8.5 %

## 製造業 重点経営施策（％）



■ 販路を広げる ■ 経費を節減する □ 情報力を強化する □ 人材を確保する ■ 新製品・技術を開発する

	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	販路を広げる 55.6 %	販路を広げる 53.4 %	販路を広げる 45.8 %	販路を広げる 43.7 %
第2位	経費を節減する 48.6 %	経費を節減する 45.2 %	経費を節減する 31.9 %	経費を節減する 42.3 %
第3位	情報力を強化する 13.9 %	情報力を強化する 16.4 %	人材を確保する 9.7 %	情報力を強化する 11.3 %
第4位	新製品・技術を開発する 9.7 %	提携先を見つける 9.6 %	情報力を強化する 8.3 %	人材を確保する 8.5 %
第5位	人材を確保する 8.3 %	教育訓練を強化する 6.8 % 新製品・技術を開発する 6.8 %	新製品・技術を開発する 6.9 %	新製品・技術を開発する 8.5 % 提携先を見つける 5.6 % 機械化を推進する 5.6 % 教育訓練を強化する 5.6 % 工場・機械を増設・移転する 5.6 %

# 卸 売 業

## 業況・売上額・収益

卸売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 36.6$ で前期比 14.5 ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 8.1$ で 12.3 ポイント増、収益は $\Delta 12.1$ で 7.9 ポイント増とともにかなり減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は悪化幅がかなり縮小し、売上額は減少幅がやや縮小し、収益は今期同様の減益が続く見込み。

## 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は 16.7 で 14.5 ポイント増と大きく上昇幅が拡大し、仕入価格は 38.7 で 24.6 ポイント増と極端に上昇傾向が強まった。在庫は 11.0 で 17.1 ポイント増と過剰に転じた。来期の見通しについては、販売価格は今期同様の上昇で推移し、仕入価格は上昇傾向がやや弱まる見込み。在庫は過剰から品薄に転じる見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

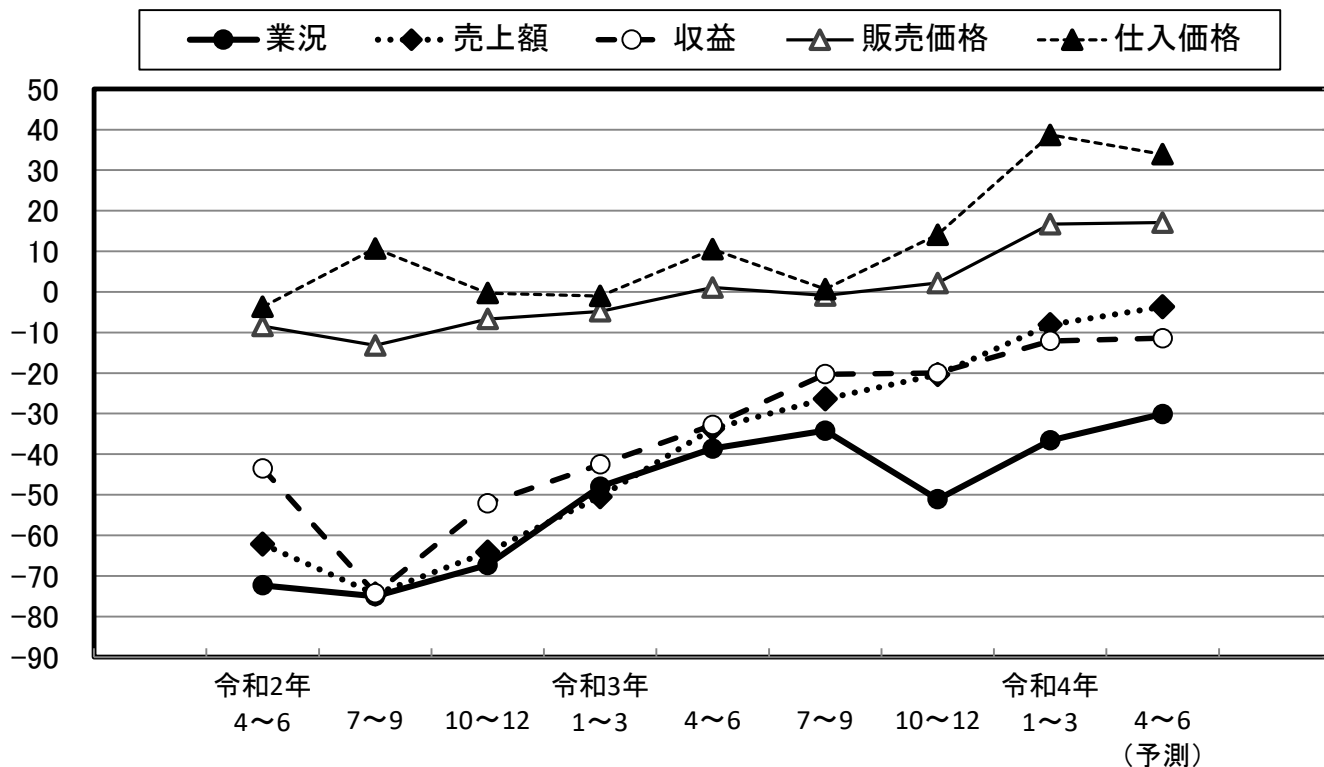
資金繰りは $\Delta 2.3$ で 10.4 ポイント増と大幅に窮屈感が緩和し、借入難易度は 0.0 で 15.8 ポイント減と大きく容易さが縮小した。借入をした企業は 21.1%で 11.1 ポイント増加した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 5.9%で 5.9 ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易となり、借入をする企業は大幅に減少し、設備投資をする企業はかなり増加する見込み。

## 経営上の問題点・重点経営施策

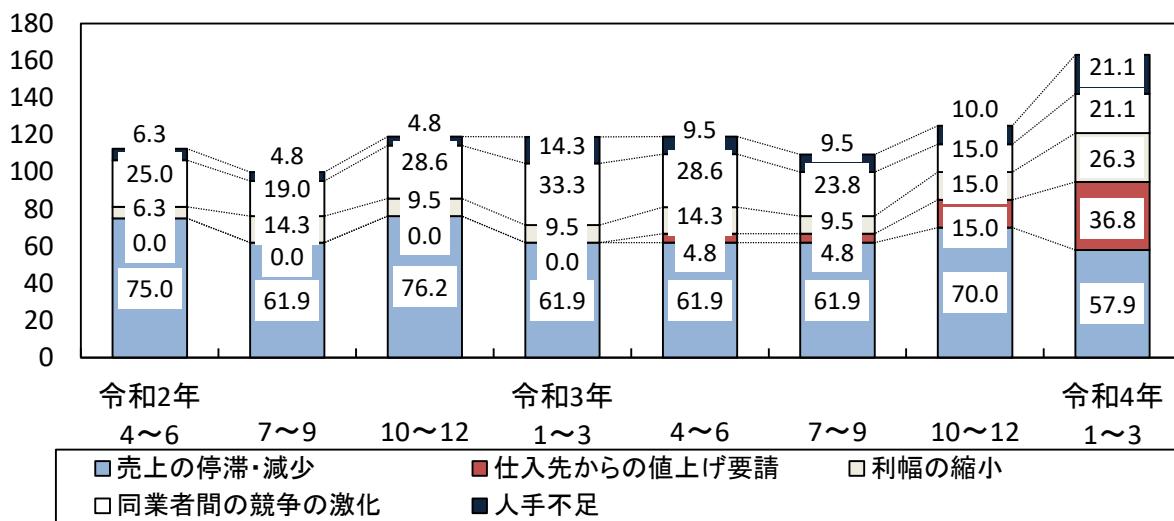
経営上の問題点は、1位は「売上の停滞・減少」で 57.9%となった。次いで2位は「仕入先からの値上げ要請」が 36.8%、3位は「利幅の縮小」が 26.3%となった。以下、4位は「同業者間の競争の激化」「人手不足」がともに 21.1%。5位が「取扱商品の陳腐化」「販売商品の不足」がともに 10.5%となった。

重点経営施策は、1位は「販路を広げる」で 68.4%となった。次いで2位は「経費を節減する」が 47.4%、3位は「品揃えを充実する」が 36.8%となった。以下、4位は「流通経路の見直しをする」「人材を確保する」がともに 15.8%、5位は「新しい事業を始める」が 10.5%と続いた。

業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

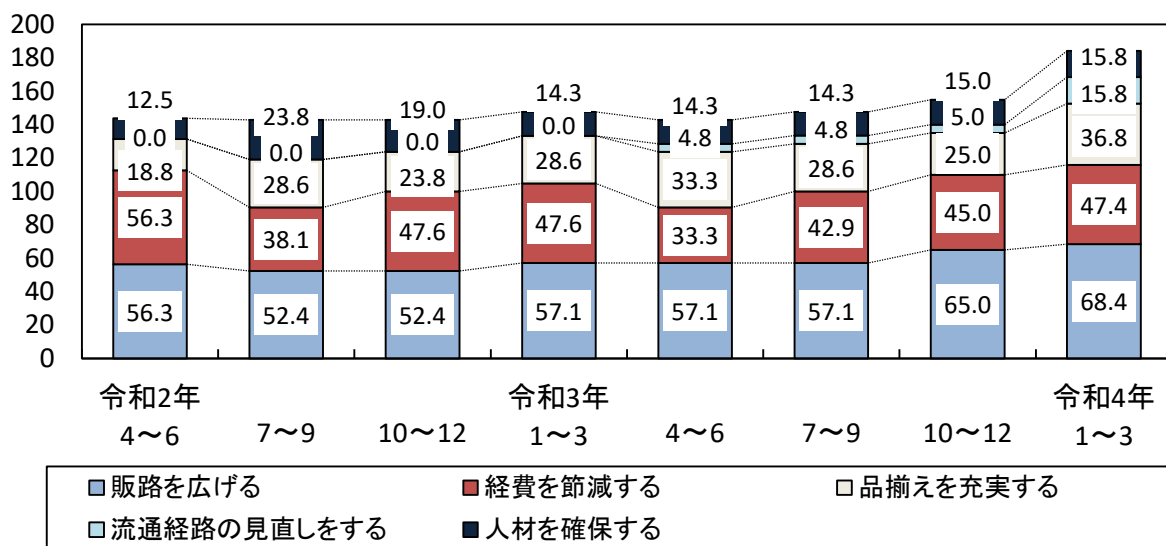


卸売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 61.9 %	売上の停滞・減少 70.0 %	売上の停滞・減少 57.9 %
第2位	同業者間の競争の激化 28.6 %	同業者間の競争の激化 23.8 %	仕入先からの値上げ要請 15.0 % 販売商品の不足 15.0 % 利幅の縮小 15.0 % 同業者間の競争の激化 15.0 %	仕入先からの値上げ要請 36.8 %
第3位	販売商品の不足 19.0 %	販売商品の不足 14.3 %	人手不足 10.0 % 取引先の減少 10.0 %	利幅の縮小 26.3 %
第4位	利幅の縮小 14.3 %	利幅の縮小 9.5 % 人手不足 9.5 %	小口注文・多頻度配送の増加 5.0 % 取扱商品の陳腐化 5.0 % 為替レートの変動 5.0 %	同業者間の競争の激化 21.1 % 人手不足 21.1 %
第5位	為替レートの変動 9.5 % 取扱商品の陳腐化 9.5 % 取引先の減少 9.5 % 人手不足 9.5 %	小口注文・多頻度配送の増加 4.8 % 取扱商品の陳腐化 4.8 % 仕入先からの値上げ要請 4.8 % 取引先の減少 4.8 % 為替レートの変動 4.8 %		取扱商品の陳腐化 10.5 % 販売商品の不足 10.5 %

### 卸売業 重点経営施策（％）



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 57.1 %	販路を広げる 65.0 %	販路を広げる 68.4 %
第2位	品揃えを充実する 33.3 % 経費を節減する 33.3 %	経費を節減する 42.9 %	経費を節減する 45.0 %	経費を節減する 47.4 %
第3位	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %	品揃えを充実する 28.6 %	品揃えを充実する 25.0 %	品揃えを充実する 36.8 %
第4位	提携先を見つける 9.5 %	人材を確保する 14.3 % 情報力を強化する 14.3 %	情報力を強化する 20.0 %	流通経路の見直しをする 15.8 % 人材を確保する 15.8 %
第5位	機械化を推進する 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	提携先を見つける 4.8 % 流通経路の見直しをする 4.8 % 取引先を支援する 4.8 %	人材を確保する 15.0 %	新しい事業を始める 10.5 %

## 小 売 業

### 業況・売上額・収益

小売業の主要指標をみると、業況は $\Delta 17.4$ で前期比5.0ポイント増とやや厳しさが和らいだ。売上額は $\Delta 5.9$ で8.5ポイント増、収益は $\Delta 9.3$ で11.8ポイント増とともに大きく減少・減益幅が縮小した。来期の見通しについては、業況は悪化幅がかなり縮小し、売上額は今期同様の減少幅で推移し、収益は減益幅が多少拡大する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、販売価格は8.0で13.8ポイント増と上昇に転じ、仕入価格は16.3で15.5ポイント増と大きく上昇傾向が強まった。在庫は $\Delta 0.5$ で1.1ポイント減と適正範囲に保たれた。来期の見通しについては、販売価格、仕入価格はともに今期同様の上昇で推移し、在庫は適正水準が続く見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

資金繰りは $\Delta 5.3$ で7.0ポイント増と大幅に窮屈感が緩和した。借入難易度は0.0で7.4ポイント増と大きく厳しさが和らいだ。借入をした企業は10.8%で5.4ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資をした企業は5.7%で5.4ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは今期同様の厳しさで推移し、借入をする企業は横這いで推移し、設備投資をする企業は多少増加する見込み。

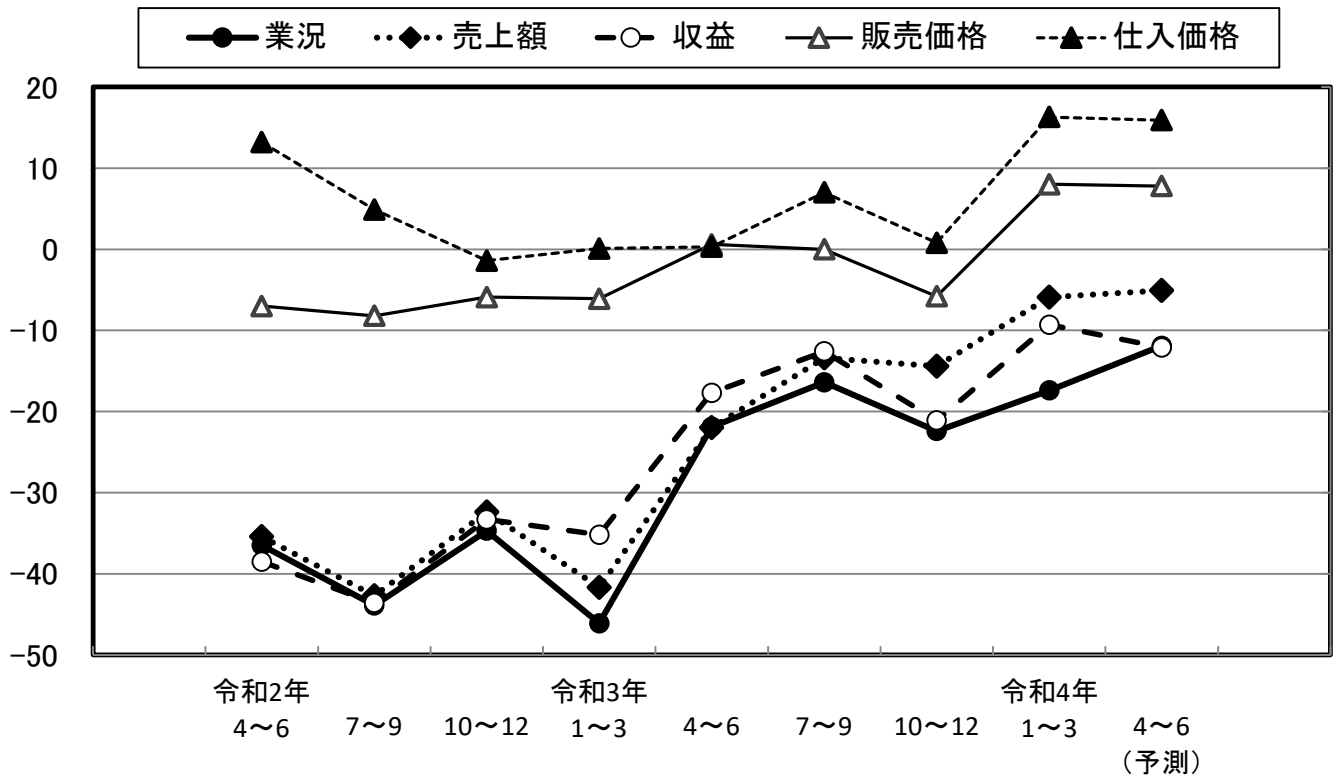
### 経営上の問題点・重点経営施策

経営上の問題点については、1位は「売上の停滞・減少」で37.8%となった。次いで2位は「大型店との競争の激化」で16.2%、3位は「商店街の集客力の低下」「利幅の縮小」でともに13.5%となった。以下、4位は「仕入先からの値上げ要請」「人手不足」「同業者間の競争の激化」でいずれも10.8%、5位は「店舗の狭小・老朽化」で8.1%と続いた。

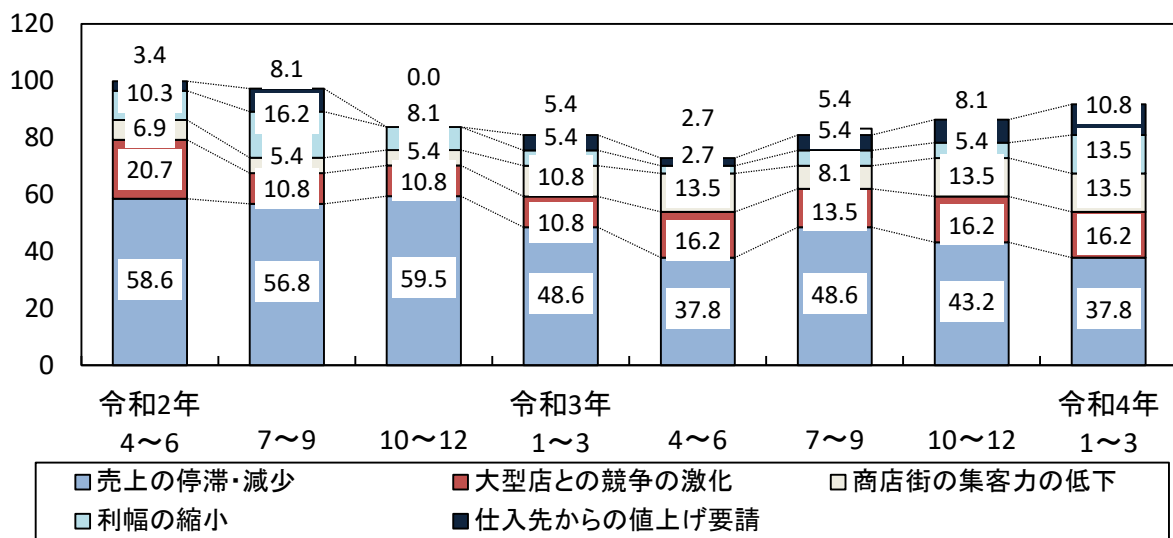
重点経営施策では、1位は「経費を節減する」で43.2%となった。次いで2位は「宣伝・広告を強化する」で16.2%、3位は「商店街事業を活性化させる」「品揃えを改善する」でともに13.5%となった。以下、4位は「売れ筋商品を取り扱う」「店舗・設備を改装する」でともに10.8%、5位は「仕入先を開拓・選別する」「人材を確保する」でともに8.1%と続いた。



業況と売上額、収益、販売価格、仕入価格の動き（実績）と来期の予測

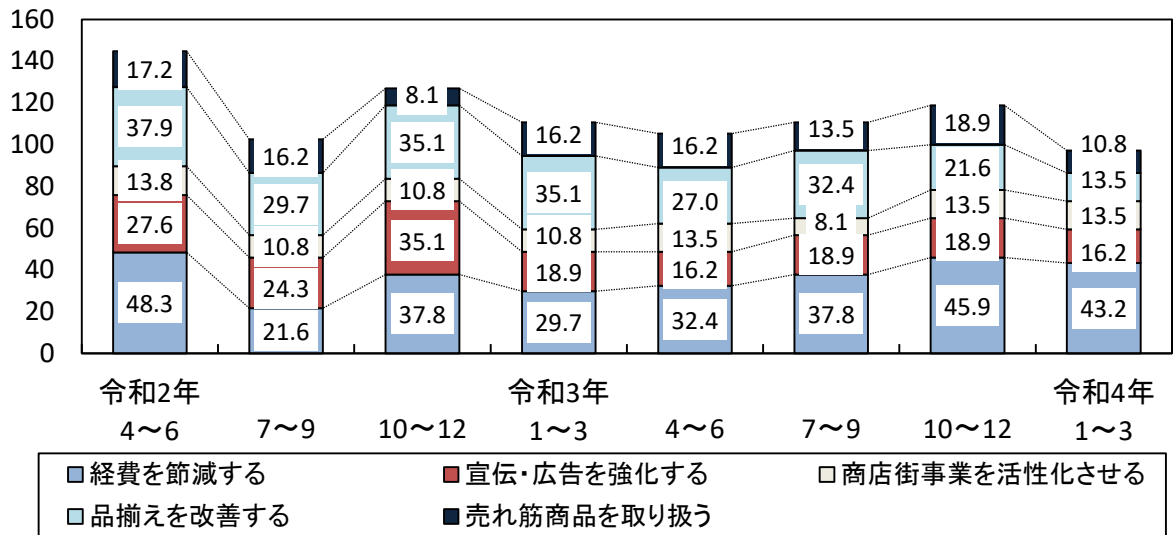


小売業 経営上の問題点 (%)



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 37.8 %	売上の停滞・減少 48.6 %	売上の停滞・減少 43.2 %	売上の停滞・減少 37.8 %
第2位	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	大型店との競争の激化 16.2 %	大型店との競争の激化 16.2 %
第3位	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	天候の不順 10.8 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 同業者間の競争の激化 13.5 %	商店街の集客力の低下 13.5 % 利幅の縮小 13.5 %
第4位	天候の不順 10.8 %	商店街の集客力の低下 8.1 % 商圈人口の減少 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 8.1 % 人手不足 8.1 %	仕入先からの値上げ要請 10.8 % 人手不足 10.8 % 同業者間の競争の激化 10.8 %
第5位	店舗の狭小・老朽化 8.1 %	人手不足 5.4 % 利幅の縮小 5.4 % 仕入先からの値上げ要請 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 店舗の狭小・老朽化 5.4 %	利幅の縮小 5.4 % 人件費以外の経費の増加 5.4 % 取引先の減少 5.4 % 天候の不順 5.4 %	店舗の狭小・老朽化 8.1 %

**小 売 業 重 点 経 営 施 策 ( % )**



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	経費を節減する 32.4 %	経費を節減する 37.8 %	経費を節減する 45.9 %	経費を節減する 43.2 %
第2位	品揃えを改善する 27.0 %	品揃えを改善する 32.4 %	品揃えを改善する 21.6 %	宣伝・広告を強化する 16.2 %
第3位	売れ筋商品を取り扱う 16.2 % 宣伝・広告を強化する 16.2 %	宣伝・広告を強化する 18.9 %	売れ筋商品を取り扱う 18.9 % 宣伝・広告を強化する 18.9 %	商店街事業を活性化させる 13.5 % 品揃えを改善する 13.5 %
第4位	商店街事業を活性化させる 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 13.5 %	商店街事業を活性化させる 13.5 %	売れ筋商品を取り扱う 10.8 % 店舗・設備を改装する 10.8 %
第5位	仕入先を開拓・選別する 8.1 %	商店街事業を活性化させる 8.1 %	仕入先を開拓・選別する 10.8 %	仕入先を開拓・選別する 8.1 % 人材を確保する 8.1 %

## サービス業

### 業況・売上額・収益

サービス業の主要指標をみると、業況は $\Delta 42.0$ で前期比 1.0 ポイント減と前期同様の厳しさが続いた。売上額は $\Delta 31.2$ で 6.1 ポイント減、収益は $\Delta 33.7$ で 9.4 ポイント減とともに大きく減少・減益幅が拡大した。来期の見通しについては、業況はかなり上向き、売上額は減少幅がやや縮小し、収益は大幅に改善する見込み。

### 価格・在庫動向

価格動向については、料金価格は $\Delta 4.4$ で 2.2 ポイント増と幾分下降傾向が弱まり、材料価格は 9.6 で 4.8 ポイント増と若干上昇傾向が強まった。来期の見通しについては、料金価格は上昇に転じ、材料価格は上昇傾向がわずかに強まる見込み。

### 資金繰り・借入金・設備投資動向

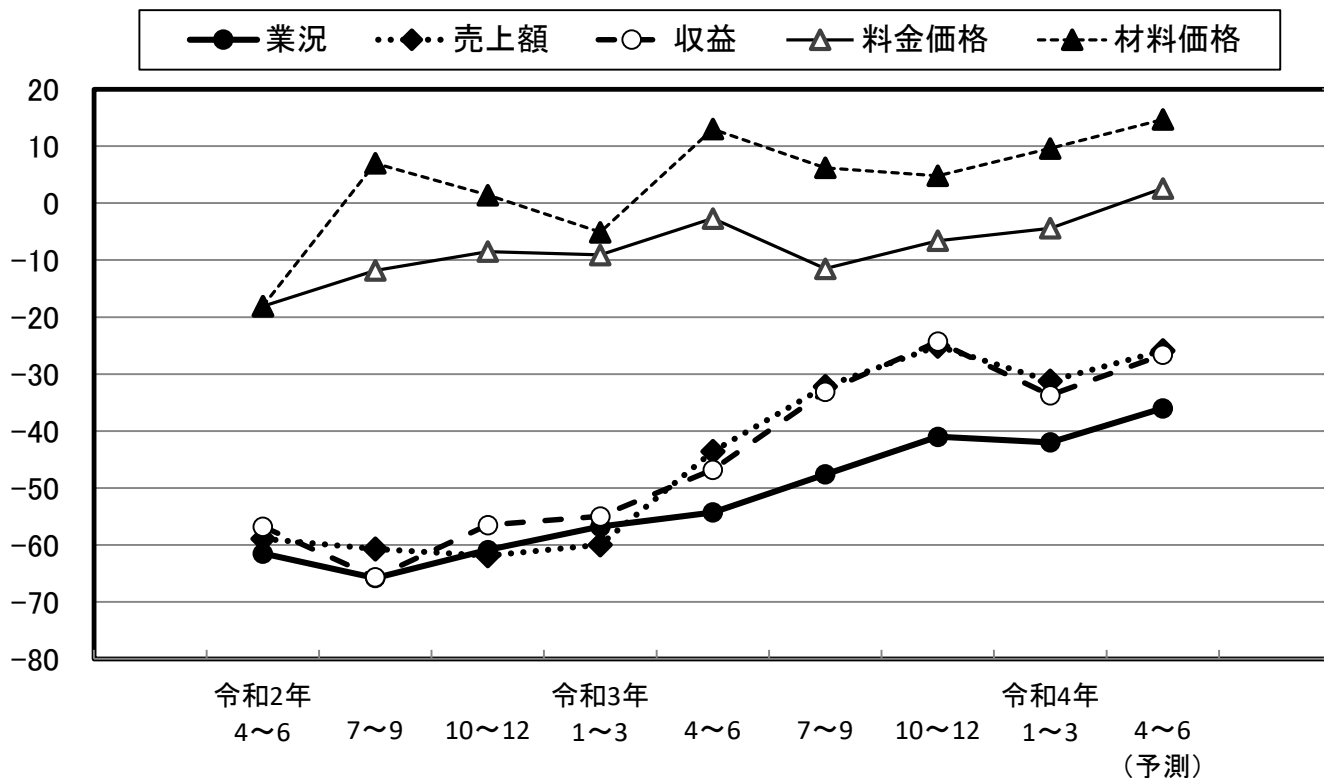
資金繰りは $\Delta 18.0$ で 2.3 ポイント減と窮屈感がやや強まり、借入難易度は $\Delta 7.3$ で 12.4 ポイント減と厳しい状況に転じた。借入をした企業は 4.3%と 6.3 ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は 11.4%と 1.6 ポイント減少した。来期の見通しについては、資金繰りは窮屈感がわずかに緩和し、借入をする企業はやや減少し、設備投資を実施する企業は若干増加する見通し。

### 経営上の問題点・重点経営施策

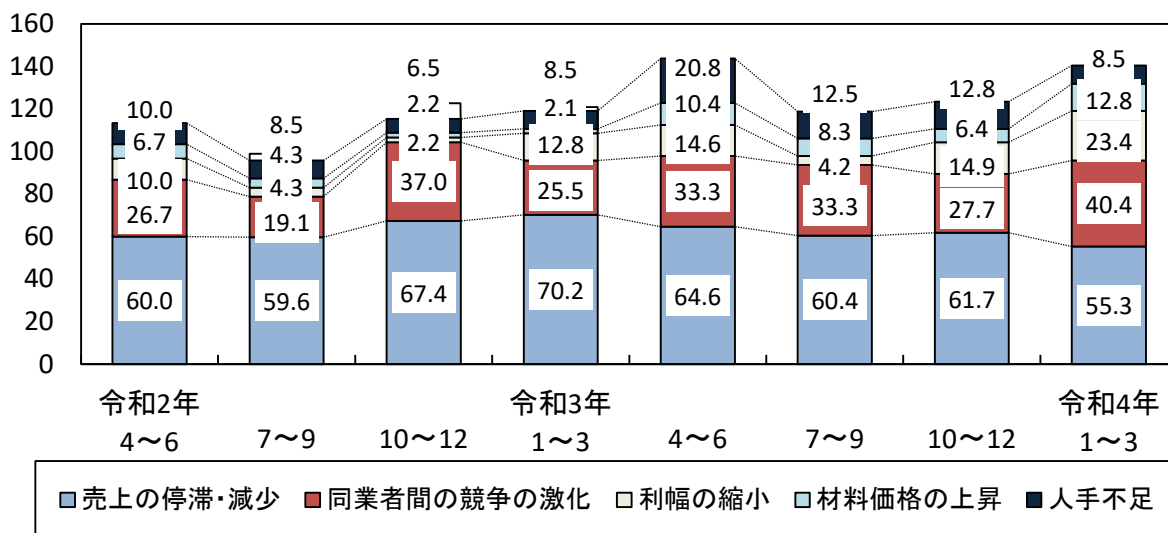
経営上の問題点は、1 位は「売上の停滞・減少」で 55.3%となった。次いで 2 位は「同業者間の競争の激化」で 40.4%、3 位は「利幅の縮小」で 23.4%となった。以下、4 位は「材料価格の上昇」で 12.8%、5 位は「人手不足」で 8.5%と続いた。

重点経営施策では、1 位は「販路を広げる」で 51.1%となった。次いで 2 位は「経費を節減する」で 38.3%、3 位は「教育訓練を強化する」「提携先を見つける」「宣伝・広告を強化する」でいずれも 12.8%となった。以下、4 位は「人材を確保する」で 8.5%、5 位は「技術力を強化する」「機械化を推進する」でともに 4.3%と続いた。

業況と売上額、収益、料金価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

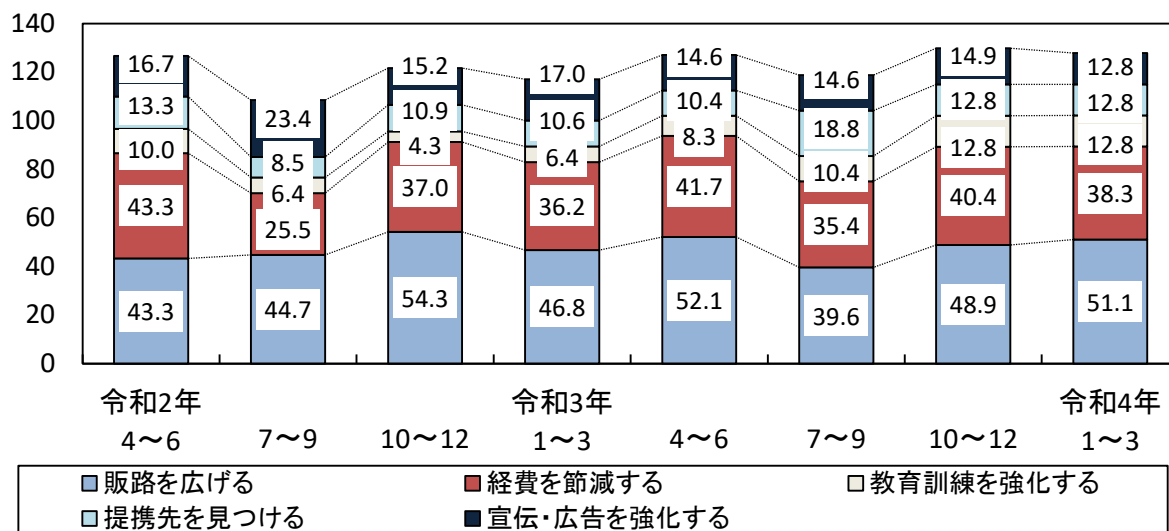


サービス業 経営上の問題点（％）



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 64.6 %	売上の停滞・減少 60.4 %	売上の停滞・減少 61.7 %	売上の停滞・減少 55.3 %
第2位	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 33.3 %	同業者間の競争の激化 27.7 %	同業者間の競争の激化 40.4 %
第3位	人手不足 20.8 %	取引先の減少 14.6 %	取引先の減少 14.9 %	利幅の縮小 23.4 %
第4位	利幅の縮小 14.6 %	人手不足 12.5 %	人手不足 12.8 %	材料価格の上昇 12.8 %
第5位	取引先の減少 12.5 %	材料価格の上昇 8.3 %	大企業との競争の激化 6.4 %	人手不足 8.5 %
			材料価格の上昇 6.4 %	
			人件費の増加 6.4 %	

サービス業 重点経営施策（％）



	令和3年4月～6月期		令和3年7月～9月期		令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期	
第1位	販路を広げる	52.1 %	販路を広げる	39.6 %	販路を広げる	48.9 %	販路を広げる	51.1 %
第2位	経費を節減する	41.7 %	経費を節減する	35.4 %	経費を節減する	40.4 %	経費を節減する	38.3 %
第3位	宣伝・広告を強化する	14.6 %	提携先を見つける	18.8 %	宣伝・広告を強化する	14.9 %	教育訓練を強化する	12.8 %
							提携先を見つける	12.8 %
							宣伝・広告を強化する	12.8 %
第4位	人材を確保する	10.4 %	技術力を強化する	16.7 %	教育訓練を強化する	12.8 %	人材を確保する	8.5 %
	技術力を強化する	10.4 %			提携先を見つける	12.8 %		
	提携先を見つける	10.4 %						
第5位	教育訓練を強化する	8.3 %	宣伝・広告を強化する	14.6 %	人材を確保する	8.5 %	技術力を強化する	4.3 %
							機械化を推進する	4.3 %

# 建設業

## 業況・売上額・収益・受注残・施工高

建設業の主要指標をみると、業況は $\Delta 7.1$ で前期比0.8ポイント増と前期同様の厳しさが続いた。売上額は $\Delta 24.9$ で16.5ポイント減、収益は $\Delta 22.6$ で10.0ポイント減とともに大きく減少・減益幅が拡大し、受注残は $\Delta 8.1$ で10.8ポイント減、施工高は $\Delta 11.8$ で18.8ポイント減とともに増加から減少に転じた。来期の見通しについて、業況はやや低迷する見込み。売上額、施工高はともにわずかに改善し、受注残は減少幅が多少拡大し、収益は今期同様の減益が続く見通し。

## 価格・在庫動向

価格動向については、請負価格は2.8で12.6ポイント減と大きく上昇傾向が弱まり、材料価格は43.9で0.4ポイント増と前期並の上昇が続いた。在庫は $\Delta 11.2$ で6.2ポイント減とかなり不足感が強まった。来期の見通しについては、請負価格は上昇幅が幾分拡大し、材料価格は上昇傾向が大幅に弱まり、在庫は不足感が若干改善する見込み。

## 資金繰り・借入金・設備投資動向

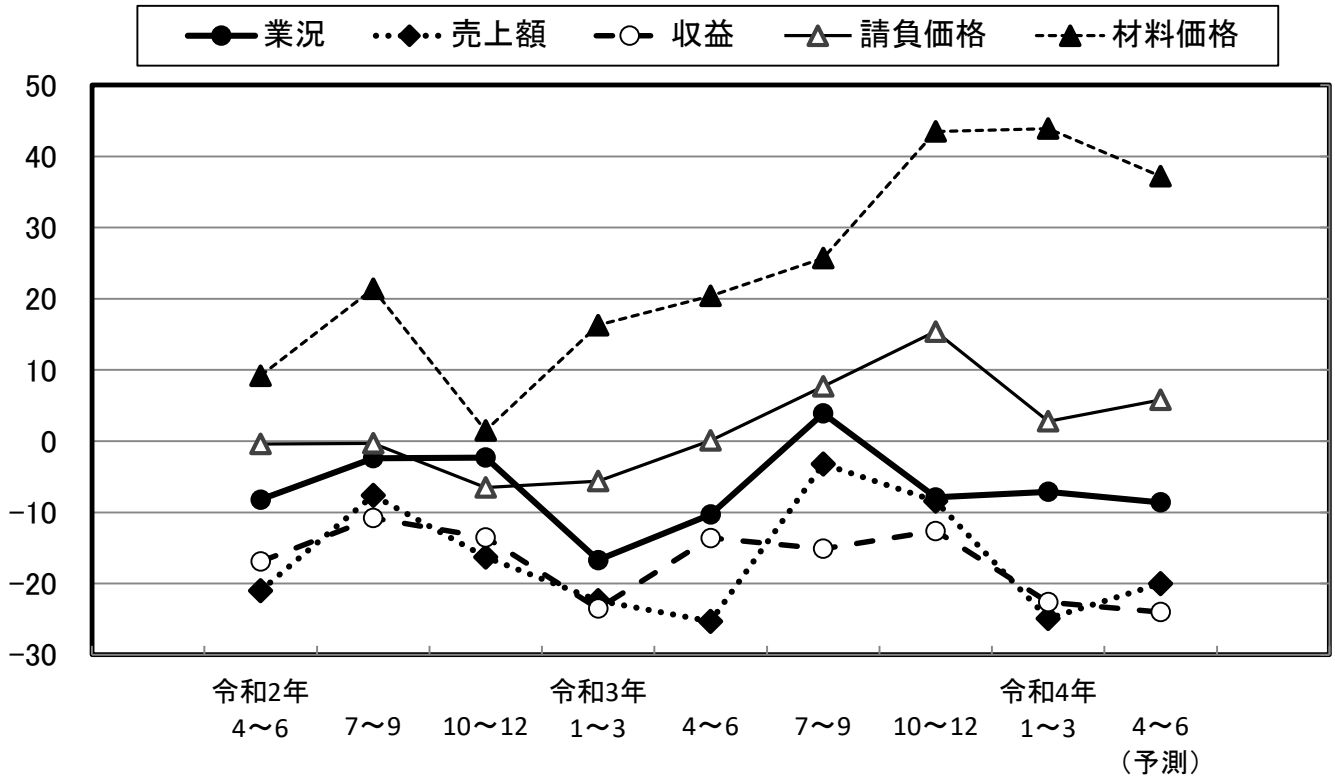
資金繰りは $\Delta 3.6$ で6.1ポイント減と厳しい状況に転じ、借入難易度は0.0で4.0ポイント減とやや容易さが縮小した。借入をした企業は9.7%と6.4ポイント減少した。設備投資動向については、設備投資を実施した企業は16.7%と7.0ポイント増加した。来期の見通しについては、資金繰りは容易となり、借入をする企業、設備投資を実施する企業はともに横這いで推移する見通し。

## 経営上の問題点・重点経営施策

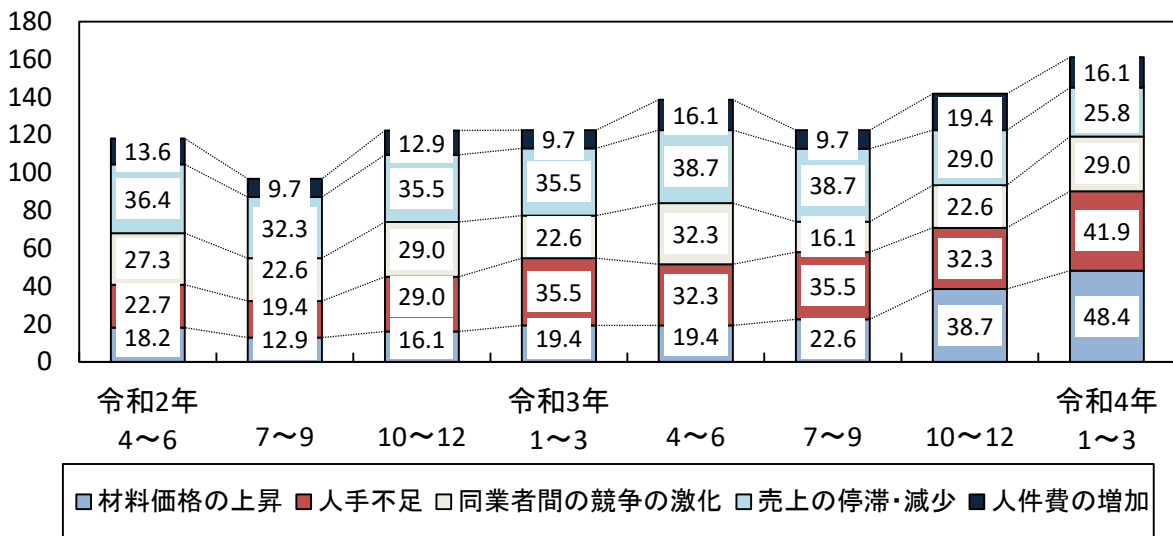
経営上の問題点は、1位は「材料価格の上昇」で48.4%となった。次いで2位は「人手不足」で41.9%、3位は「同業者間の競争の激化」で29.0%となった。以下、4位は「売上の停滞・減少」で25.8%、5位は「人件費の増加」で16.1%と続いた。

重点経営施策は、1位は「経費を節減する」で48.4%となった。次いで2位は「人材を確保する」で45.2%、3位は「販路を広げる」が35.5%となった。以下、4位は「技術力を高める」で29.0%、5位は「情報力を強化する」で9.7%と続いた。

業況と売上額、収益、請負価格、材料価格の動き（実績）と来期の予測

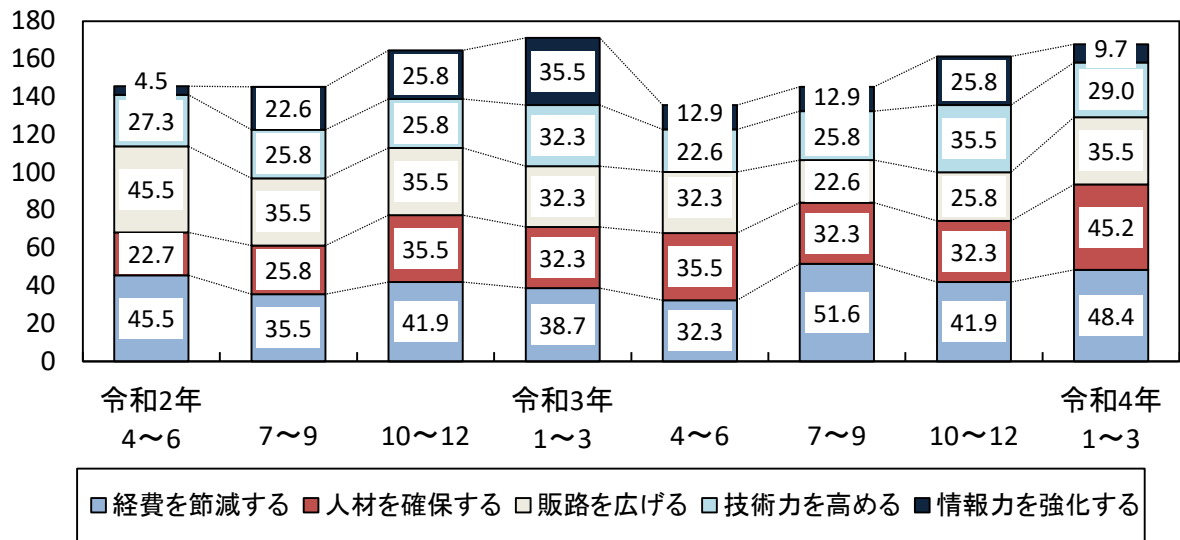


建設業 経営上の問題点 (%)



	令和3年4月～6月期	令和3年7月～9月期	令和3年10月～12月期	令和4年1月～3月期
第1位	売上の停滞・減少 38.7 %	売上の停滞・減少 38.7 %	材料価格の上昇 38.7 %	材料価格の上昇 48.4 %
第2位	同業者間の競争の激化 32.3 %	人手不足 35.5 %	人手不足 32.3 %	人手不足 41.9 %
	人手不足 32.3 %			
第3位	材料価格の上昇 19.4 %	材料価格の上昇 22.6 %	売上の停滞・減少 29.0 %	同業者間の競争の激化 29.0 %
第4位	人件費の増加 16.1 %	同業者間の競争の激化 16.1 %	同業者間の競争の激化 22.6 %	売上の停滞・減少 25.8 %
第5位	下請の確保難 12.9 %	天候の不順 12.9 %	人件費の増加 19.4 %	人件費の増加 16.1 %
		下請の確保難 12.9 %		

## 建設業 重点経営施策（％）



	令和3年4月～6月期		令和3年7月～9月期		令和3年10月～12月期		令和4年1月～3月期	
第1位	人材を確保する	35.5 %	経費を節減する	51.6 %	経費を節減する	41.9 %	経費を節減する	48.4 %
第2位	経費を節減する	32.3 %	人材を確保する	32.3 %	技術力を高める	35.5 %	人材を確保する	45.2 %
	販路を広げる	32.3 %						
第3位	技術力を高める	22.6 %	技術力を高める	25.8 %	人材を確保する	32.3 %	販路を広げる	35.5 %
第4位	情報力を強化する	12.9 %	販路を広げる	22.6 %	情報力を強化する	25.8 %	技術力を高める	29.0 %
					販路を広げる	25.8 %		
第5位	教育訓練を強化する	9.7 %	情報力を強化する	12.9 %	教育訓練を強化する	6.5 %	情報力を強化する	9.7 %